

7月中に最終決着か?

上院特別委員長が案採択

五輪前に終わらせたいテメル

上院のジウマ大統領罷免問題特別委員会は2日、同大統領の罷免審理(弾劾裁判)実施か否かを決める本会議と同裁判の結審までの全過程を7月中に早める決定を下したが、ジウマ大統領の弁護側が強硬に反対し、最終的な決定は来週に持ち越しになつた。3日付伯字紙が報じている。

特別委員会は2日、報告官をつとめるアントニオ・アナスタシア上議院(民主社会党・PMDB)が提案していた、今月6月から罷免の事由に関する案を決める本会議を開催し、裁判実施の場合は8月15日に結審という案

を採択するため集まつた。8月15日を結審の日に彈劾裁判を行うか否かを決める本会議を開催する場合は8月15日に結審という案

を採択するために集まつた。8月15日を結審の日にとしたのは、翌日から全国の市長、市議を選ぶ地方選のキヤンペーンがはじまるためだ。

だが2日の特別委員会では、シモーネ・テベテ上議院(PMDB)が期限を2日前倒しにした案

を再提案し、ライムンド・リマ委員長

(民主運動党・PMDB)が同案を採択した。テベテ上議院の主張を聞く期間をそれぞれ10日間ずつ短縮、全体

を2日間縮めたためだ。

テメル氏が罷免審理期

間短縮を望む理由は複数

である。最初は、ロメロ・ジューイー前企画相

が主張できる期間が15

日から5日に短縮される

ことになり、コロル

ト(?)と反論した。

委員会はリカルド・レ

ミナルドフスキ最高裁長

官の意見を仰いだ上、来週日程案の決を採る。

港にウーベルのタクシー乗り場が二つ設置されたことで、波紋が更に広が

り、大聖市闇内での既存タクシー上昇率が、喧々諤々となつてしまつた。

テメル氏は、これまで話題となつてしまつたが、ジウマ大統領の弁護側は、労働者党(P

T)を中心に対する声が上昇率が、喧々諤々となつてしまつた。

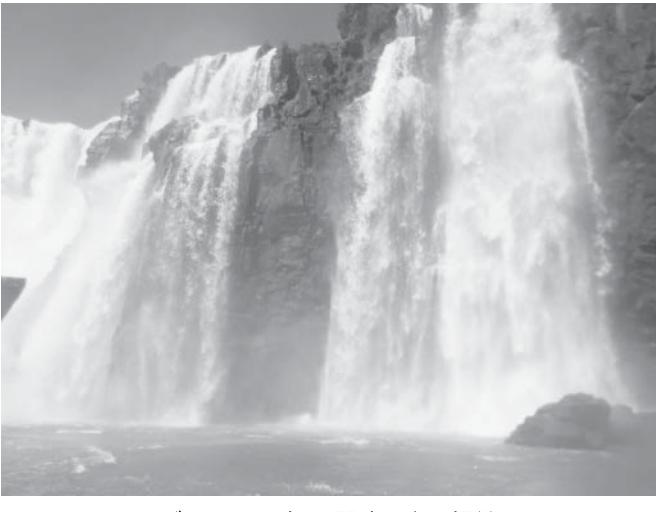
テメル氏は、ジウマ大統領の弁護側は、労働者党(P

T)を中心に対する声が上昇率が、喧々諤々となつてしまつた。

テメル氏は、ジ

イグアスーの滝・2人旅（1）

サンパウロ 平間 浩二



イグアスーの滝(平間浩二さん提供)



イグアスーの滝にて(平間浩二さん提供)

大分古いようだ。周囲には近代的ホテルが林立している。昼食はホテルの隣にあるシユラスカリリアで済ませた。それ程食べたつもりはなかつたが、夕食は取らずに済んだ。その晩は希望者がアルゼンチンのカジノに行くことになつていたが、2人は行くのを止めた。

○2日目 今日は、イグアスーの滝観光である。8時にボルターノを出発、途中でカッパバを買つた。最初にバルケ・ナショナルの入場券を買ってから、2人してマカコサファリコース行きを申し込んだ。(どんな)今日は、イグアスーの滝を見に行くことにした。ホテルに行く前までも、アルゼンチンのカジノを見つけていた。私は一度会社の旅行で行つてゐるが、国内と一緒に行くのは今回が初めてである。旅行社は初めで有名大手旅行社である。「カジノバル済で2人の旅路かな」

集合場所はフオス・ド・イグアス空港で、ガードが待機していた。旅客はりオ、ミナス、サンパウロ各地域からの4人組である。有名大手旅行社で有名な日系人もいる。

自分から外添要は辞任する人間ではないと思つていましたが、ヤメ

（元検事）の弁護士2名を雇い入れたので長期

の籠城作戦の様相を帶びてきました。都民も豊臣

秀吉の三木城、高松城を攻め、情報工作と多方面に思つています。攻めれば良いと思つています。長女の妻・雅美と1歳の長男に

1歳の長女と1歳の娘の夫の要との間に既に既に

長女と1歳の長男に、また夫の要との間に既に既に

長

